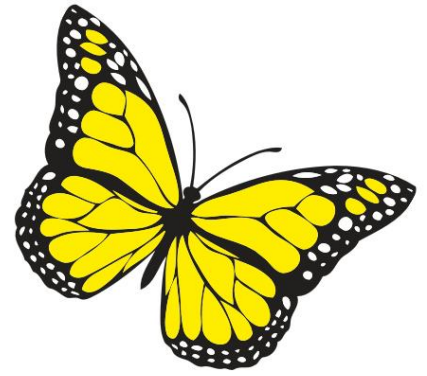


# Zoom講演会 野村路子氏

(テレジンを語りつぐ会代表)



4/22

(土)

13:30~

15:30

テレジンでの 小さな画家たちとの出会いから

アウシュヴィッツ、イスラエルへ

その才能も夢も 理不尽に奪われた

15,000人のアンネ・フランクたちの声を聴いて

歩き続けた33年

**参加費無料**

要予約 (先着500名)

定員になり次第終了

**参加申し込み**

4月19日(水)までに  
下記のいずれかでお申し込みください。

\* 申込フォーム

<https://forms.gle/deKsxRSexWHuHxiiq7>

\* メール:

[tomonokaikokusai@gmail.com](mailto:tomonokaikokusai@gmail.com)



テレジン収容所については  
婦人之友2023年2月号P86  
「チェコの街角から」でも  
触れられています。



## 野村路子氏 プロフィール



1937年東京生まれ。都立白鷗高校を経て、59年、早稲田大学第一文学部仏文科卒業。コピーライター、タウン誌編集長の後、新聞・雑誌にエッセイやルポルタージュを執筆、NHK・FM浦和でパーソナリティをしていたが、89年、プラハでテレジンの子どもたちの絵と出会い、その事実を伝えようと、チェコ大使館、ユダヤ博物館などと交渉、91年から日本で『テレジン収容所の幼い画家たち展』を開催。数少ない生き残りの人たちへのインタビューをかさね、展覧会、執筆、講演活動を続けている。

『テレジンの小さな画家たち』で、産経児童出版文化賞大賞を受賞。ほかに、『15000人のアンネ・フランク』『子どもたちのアウシュヴィッツ』『テレジン収容所の幼い画家たち・詩人たち』『写真記録アウシュヴィッツ』(全6巻)など著書多数。テレジンの子どもたちの詩を中心に詩作・構成をした、朗読と歌によるコンサート『テレジン もう蝶々はいない』を全国各地で上演。2001年にはプラハ、テレジンでも上演した。

(「テレジンを語りつぐ会」ホームページより)